

第8回JP7分科会

開催日：7月7日

ISO/TC67/WG2(認証方式)の東京会議
(7/19~21)の受入れ体制と日本の対応につき
審議

第5回JE1分科会

開催日：7月8日

次回TC17/SC20国際会議で議題となる機械
試験用試材および試験片採取位置(1/8巾, 厚か
1/4巾, 厚か)の対応策を協議

第5回JE2分科会

開催日：7月15日

ISO/TC164/SC2及びSC4Pの国際会議出席
報告とJE2分科会各WG活動状況を報告・審議

第8回JP6分科会

開催日：7月16日

H4年度改正JIS9規格の解説(案)の審議とH5
年度改正JIS19規格の改正要望の調査

**鉄鋼標準化センター運営委員会
標準化委員会**
第3回JE4分科会**第50回SC1諮問部会**

開催日：7月15日

規格作成、改正中のISO/WD, CD, DIS計17
件及びJIS2件につき、又来年日本開催のSC1国
際会議方針などを審議

鉄鋼JIS三者委員会
平成5年度第1回鉄鋼JIS三者委員会

開催日：7月23日

本年度の新委員により鋼材JIS見直し受託規
格を確認した後、ISO規格との整合化等審議方
針を明確にし、審議計画を決定した

ブックレビュー
●テクニカル・ライティング—話し言葉で書く科学英語—●

Matt Young著, 小笠原正明訳, 1993年6月

丸善株式会社発行(TEL 03-5684-5571)

四六判 254頁, 定価(税込) 2,266円

書評を書くのは気が重いものだ。特に読んでみてさほど感心しない場合は困ってしまう。素直に感想を述べるとけなすことになる。しかし、これはという本にあたると、すっかり正義の報道官という気分が筆が進む。本書はその類である。

本書の副題—話し言葉で書く科学英語—に騙されてはいけない。自分は大して英語もしゃべれないのだからなどと、卑下する必要は毛頭無い。筆者は、技術論文特有の没個性的な表現や修辞法を避け、簡明な文章を推奨しているのだから。それと同時に、研究者が陥りがちな事大主義や権威主義的な発想を冷ややかな目で批判している。このあたりはバイアスの「悪魔の辞典」を彷彿とさせる。

本書は簡単なガイドのPart I と辞書形式のPart II に分かれている。その一部を紹介しよう。

found to be [...]である]とわかる] この言葉はほとんどの場合不要であることが「見い出されて」いる。

preliminary experiment [予備実験] あまりきちんとやらなかった実験で、その結果に対してあまり自信はないが、それにもかかわらずもう一度くりかえすつもりのない実験のこと。

この例からも想像できるように、読み物としても面白く、内容も高級である。英語の論文を書いたことのある人にお薦めする。

(東京大学工学部 鈴木俊夫)

次号目次案内

鉄と鋼 第79年第11号(11月号)目次
解 説

板材成形加工における数値解析の現状

塗料の基礎特性

技術資料

焼結鋳造におけるプロセスおよび成品評価の課題

蛍光X線分析法によるチタン合金の分析

特別講演

鉄の粒界破壊と微量元素および合金元素の効果

論 文

荷重および雰囲気加圧下における石炭の中低温乾留

流動層加熱における石炭粒子の凝集

生石灰系フラックスによる含クロム溶銑脱磷試験

RH真空脱ガス装置の装置条件と脱炭反応特性

タンディッシュ内溶鋼の汚染要因の定量化

磁場を印加した連铸鑄型における溶湯波動の挙動

連铸二次冷却中の微細炭化物の析出と鋼の高温脆化

合金化溶融亜鉛めっき鋼板製造プロセスにおける合金化反応と皮膜構造

電子線橋かけ型ポリ塩化ビニル被覆鋼板の塗膜特性に及ぼすモノマー種の影響

高温低サイクル疲労寿命の温度、ひずみ速度依存性に対するパラメータ解析法

パラメータ解析法による各種高温材料の低サイクル疲労寿命評価

ガスタービン燃焼器用材料Hastelloy Xの析出形態、機械的性質に及ぼす長時間時効の影響

アルゴン雰囲気中における高純度クロムの高温クリープ抵抗

仲町 英治

上田 隆宣

葛西 栄輝, 他

小谷 直美, 他

木村 宏

板垣 省三, 他

小島 紀徳, 他

北村 信也, 他

加藤 嘉英, 他

田中 宏幸, 他

李 廷挙, 他

鈴木健一郎, 他

稲垣 淳一, 他

増原 憲一, 他

山口 弘二, 他

小林 一夫, 他

吉岡 洋明, 他

近藤 義宏, 他